2021 年 11 月 30 日

外部評価委委員会委員長
原田園子先生

2021 年度外部評価委員会評価を受けて

神戸女学院大学学長　中野　敬一

このたびは、2021 年度本学自己点検・評価活動について、詳細かつ的確な点検・評価を賜り、まことにありがとうございました。ご指摘いただきました点を真摯に受け止め、今後の活動に反映して参ります。各組織へのご指摘については、当該組織に伝えて改善に鋭意努めるとともに、適切な回答を作成するように指示いたしました。それらの回答は本年 11 月末に DMS 上で公開いたしますので、ご確認いただきますようお願い申し上げます。大学全体にかかわるご指摘・ご提言につきましては、下記にご回答申し上げます。

１．2021 年度からの新たな中期目標・計画が、概ね PDCA サイクルに基づき立案されているとの評価をいただき、ありがとうございました。目標・計画案に具体性がみられない箇所がある点、ウィズコロナ状況での新たな手法での活動の可能性の検討については、今後、各部署の執筆者、自己評価委員会および大学企画評価会議で情報共有しつつ、注意喚起して参ります。また、より具体的な目標を計画に記載するべきとのご助言をありがとうございました。目標の明確化、達成度の評価方法、適切な根拠資料の提示については、大学全体として、引き続き検討および改善をして参ります。

２．志願者減、学生数減の問題については、入学センターのみならず大学全体として取り組むべき最重要課題のひとつだと認識しております。今年度 9 月 22 日に開催された大学教授会研修会では「いま・ここ、そしてこれからの神戸女学院大学――大学と各学科の取組みから考える――」というテーマで本学の現状を共有したうえで、各学科単位で改革の方向性について議論する機会を設けました。また、ご指摘のあった英文学科と総合文化学科の協力体制については、新しい学部・学科構想も含めて検討を始めております。

３．研究活動および財務についてご指摘・ご助言をありがとうございました。研究所・女性学インスティチュートおよび経理課の責任者に申し伝えております。

４．ご提案いただいた指標については毎年各部署で点検し、本学の HP 上で公開しております。ただ、発信力が十分でなく、必要な情報が伝わっていないのかとも思われます。お詫び申し上げます。念のため、以下に各 URL を記載いたします。

①留年者数・中退者数
・留年者数（在籍者数：「情報公開」ページ）
https://www.kobe-c.ac.jp/about/kokai/kyoiku-info/zaiseki
・中退者数（退学者数：「情報公開」ページ）
https://www.kobe-c.ac.jp/about/kokai/kyoiku-info/taigaku_gra
②大学院進学
・本学卒業生者の進学状況（進学実績：「キャリアセンター」ページ）
https://www.kobe-c.ac.jp/shushoku/data/course/index.html
・本大学院への入学者（在籍者数：「情報公開」ページ）
https://www.kobe-c.ac.jp/about/kokai/kyoiku-info/zaiseki
③学生の隔地と近隣地の内訳
・在学生の出身地（「数字で見る神戸女学院大学」ページ）
https://www.kobe-c.ac.jp/about/outline/data
④留学状況
・留学状況の推移（「情報公開」ページ）
https://www.kobe-c.ac.jp/application/files/8416/0308/9235/data_a.pdf
⑤授業評価アンケート集計結果
・集計結果（抜粋）（授業評価アンケート：「FD センター」ページ）
https://www.kobe-c.ac.jp/about/organizations/fd-center/fd-questionnaire
・集計結果の経年変化（授業評価アンケート：「FD センター」ページ）
https://www.kobe-c.ac.jp/application/files/2016/1345/9798/keinenhenka.pdf

５．卒業生、修了生によるアンケートの実施、分析方法に関して、学生目線からの評価点検という重要なご指摘をいただきました。ありがとうございました。中長期計画・評価において、アンケートの時系列分析を盛り込むことについては、今後検討して参りたいと存じます。

2022 年度に大学基準協会による認証評価を受審することもあり、外部評価委員のみなさまには、今回、例年になく多くの項目を点検・評価していただきました。ご多忙のなか、このようなお骨折りをいただきましたこと、心より感謝申し上げます。教育研究機関として神戸女学院大学がさらなる発展を続けていくために，みなさまからのご指摘・ご助言を活かして、今後より一層の努力を重ねて参る所存です。引き続き、ご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上